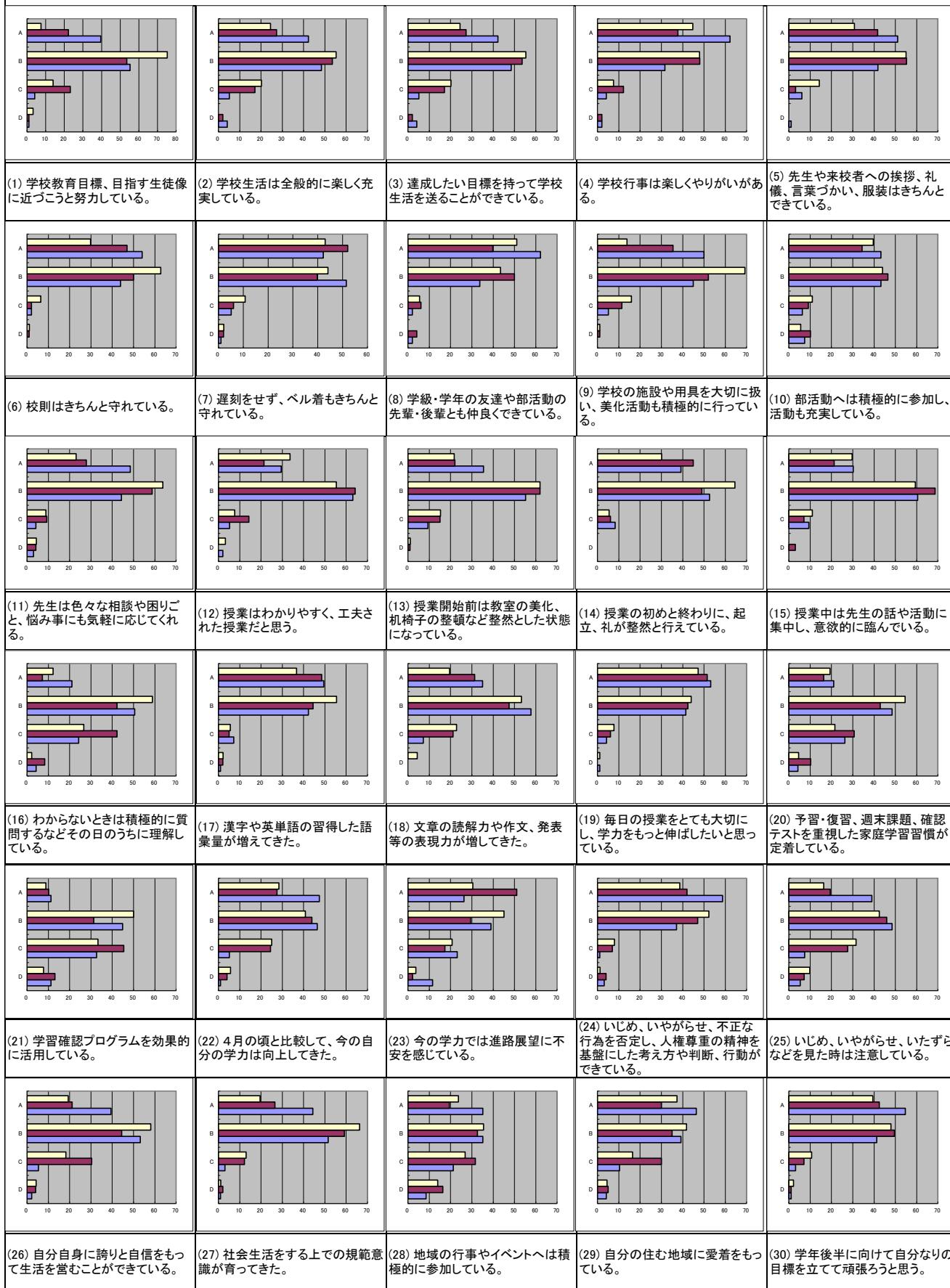


平成28年度 ≪生徒によるアンケート結果 : 後期 ≫



* グラフは各項目、上段:1年生、中段:2年生、下段:3年生。

生徒アンケートにおいては、おおむねA、B評価が多くなっている。特に、設問(4),(6),(7),(8),(10),(14),(17),(19),(23),(24),(30)ではA評価が多く、授業や学校行事、部活動に積極的に取り組もうとしていることがうかがえる。1年の設問(2)では、A、B評価が前期に比べ約15ポイント減っている。他の設問について、C,D評価が極端に増えたものはないが、今後の生徒の様子を注視していきたい。

設問(16),(20),(21),(22),(23),(25),(28)では、前期同様C、D評価が多くなっている。設問(16),(20),(21)については、日常の学習に取り組む姿勢や家庭学習の習慣化のさらなる取組の必要性を示している。設問(28)でも、C、D評価がまだ約35%(2年生は50%)が多いが、今後も地域の行事への積極的な参加を促すとともに、地域を大切にする心を育てる取組を進めたい。

設問(18)については、以前はA、B評価がC、D評価を下回っていたが、ここ2~3年はA、B評価が80%前後で定着しており、各教科での言語力の向上をめざした取組の成果が現れつつあるものと思われる。今後、さらに取組を進めていきたいと思う。

また設問(24)では、A、B評価がC、D評価を大きく上回っているにもかかわらず、設問(25)ではC、D評価がやや多くなっており、これは例年の傾向となっている。いじめいやがらせを自分ではないが、それを見たときに注意するまでにはいたっていないことを示している。前期に比べ1年でC,D評価が約10ポイント減っているが2年でC,D評価が10ポイント増えている。今後より積極的に取り組めるような人権意識や規範意識の高揚を図っていきたいと考えている。